

大江山古道普請ツアー～明智光秀ゆかりの地を巡る～
明智光秀ゆかりの地を巡り、歴史ある古道を復活させよう！
10月13日 2018年開設！大江山連峰トレイルにて体感型歴史復元ツアー募集開始！！

明智光秀の首が埋められたという言い伝えの残る首塚がある「盛林寺」、平安時代から戦国時代の戦火をくぐり抜けた古道「元普甲道」、また、江戸時代に参勤交代で使われていた「普甲道（宮津街道）」。

こうした歴史を感じられる地域が大江山にはたくさん隠されています。このたび京都府では10月13日にこうした明智光秀の生きた時代、歴史ある足跡を辿り、また歴史ある古道を道普請するツアーを開催いたします。

道普請とは道の補修や道をつくることを指し、普甲道や元普甲道も歴史の中で、道普請を重ねられ現在に伝わる古道となっています。

バスで現地へ行き、地域ガイドの案内により、盛林寺・元普甲道の見学、普甲道での道普請作業をしていただきます。秋の紅葉が広がる大江山での体感型歴史復元ツアーに多くの方のご参加をお待ちしています。

イベント概要
大江山古道普請ツアー ～明智光秀ゆかりの地を巡る～
【日時】 令和元年10月13日（日） 8時15分から19時45分

バスの場合 阪南大学南キャンパス前8時15分集合、19時45分散

現地集合の場合 京都丹後鉄道 喜多駅11時30分集合、17時解散

【場所】 大江山地域（盛林寺、元普甲道、普甲道）

【参加費】 旅行代金無料

【定員】 50名

【内容】 明智光秀の足跡を追いつつ、歴史の舞台となった古道の道普請（復元作業）を行います。

【申込】 海の京都DMOツアーセンター（電話受付：平日 9時～17時）

[TEL:0772-68-1355](tel:0772-68-1355)
申込期限：10月3日（木） ※先着順
【昼食】 各自持参

※おふくろ弁当（地元食材が詰まったオリジナル弁当、900円（税込））を希望者は注文可能。申込時にご予約ください。



明智光秀の首が埋められたという言い伝えの残る首塚がある盛林寺



天橋立を眺められる元普甲道



参勤交代が通った古道 普甲道

《内容に関するお問い合わせ》

京都府中丹広域振興局企画振興室 担当：藤井、須崎、福田

TEL：0773-62-2031 FAX：0773-63-8495

 E-Mail：chushin-ki-kikaku@pref.kyoto.lg.jp

《申込受付》

海の京都DMO 担当：黒田、西木、香月

TEL：0772-68-1355

【大江山連峰について】

大江山は丹後・丹波の国境にそびえる当地方きっての名山です。大江山を記した古書も数多くあり、『丹後国風土記残缺』、『西北紀行』（貝原益軒）、『秋山の記』（上田秋成）などが代表的なものです。こういった古書には「与謝ノ大山」「与謝大山」「大山」「大江山」「千丈嶽」「御嶽」などと書かれています。江戸時代の『西北紀行』や『秋山の記』では「大江山」となっています。この山には三つの伝説があります。一つは崇神天皇の弟にあたる日子坐王（ひこいませのきみ）の土蜘蛛退治伝説であり、もう一つは用明天皇の第三皇子麻呂子親王の鬼退治伝説であり、残り一つは御伽草子「酒吞童子」で知られる源頼光の鬼退治伝説です。これらの伝説にまつわる伝承地は今でも数多く残されています。

【盛林寺について】

盛林寺は、上宮津城主、小倉播磨守の菩提寺として1577年に宮津大久保谷に創建された。開山は趙室宗栢和尚、それを助けた小倉氏は、丹後守護一色家の重臣であった。小倉氏は、1578年10月、細川氏に敗れて滅んだ。細川氏は1580年8月、丹後の大名として入国、宮津城をつくった。盛林寺はその庇護を受けた。

盛林寺が大久保谷から上宮津に写ったのは、1603年で、場所は現在地の南に接する「寺谷」であった。当時細川氏は九州中津（大分県）に移った後であった。さらに現在地に移ったのは、1685年であった。寺地は、山懐に包まれた景勝地で、地方の歴史を語る風物や文化財に恵まれている。

寺の裏手には明智光秀のものとされる首塚が残っており、光秀が山崎合戦に敗れて殺されたのち、光秀の子であるガラシャ夫人、細川忠興の妻の元である宮津に届けられて、この寺で供養を受けたという言い伝えが残る。（盛林寺 参拝のしおりより）

【丹後の歴史と今普甲道（宮津街道）について】

室町時代は山名氏のちに一色氏が守護として治めていた。戦国時代、織田信長の命を受けた細川忠興、明智光秀らの攻勢により、一色氏は降伏。細川忠興とその父は丹後を治めることとなった。江戸時代に入り、細川氏は九州に移封。関ヶ原の戦いで功を挙げた京極高知が治める。没後は宮津藩（宮津市）、田辺藩（舞鶴市）、峰山藩（京丹後市）に分かれ、嫡男の京極高広が宮津藩を治める。

宮津藩主京極高広（1599～1677）の時代に、元普甲道から分かれる今普甲道が整備され、途中には茶屋が設けられた他、番所跡と思われる小字新兵衛屋敷、茶屋の跡などが存する。この際、伝承では「普甲道」の名称が「不幸」に通じるなどとして「千歳峰」と命名され、碑文等が残る。今でも一部には石畳が残っており、参勤交代で使用されていた往時を偲ぶ。他にも道の途中には廻国供養塔がある他、宮津側の集落は宿場としても整備されたと考えられる。また、慶応2年（1866）に宮津藩によって設置されたと伝わる（「宮津旧記」）関所「胸壁」は、現在も桁形虎口や礎石などの遺構が残存する。

【大江山連峰トレイル】

2018年3月開設。赤石ヶ岳、千丈ヶ嶽、鳩ヶ峰、鍋塚の4山からなる大江山連峰の縦走路と、赤岩山から宇野ヶ岳、杉山を經由して普甲峠へ至る縦走路を合わせた全長約16kmのルートとを、その両端の山の名前をとり「赤赤縦走路」と呼ぶ。標高は千丈ヶ嶽の832mが最高でアップダウンも緩やか、さらにほとんどのルートが整備されているため登山初心者でも歩きやすい。2007年には丹後天橋立大江山国定公園にも指定されている。

【丹後天橋立大江山国定公園について】

平成19年8月3日に指定。初の京都府の地域名称を冠した国定公園。丹後半島の「海岸」、その背後にある「高原」、大江山連峰の「山容」と変化に富んだ表情豊かな公園です。当指定地域は、日本三景の天橋立そして、丹後王国さらには、大江山の鬼伝説など歴史や文化にも彩られています。大江山地域の見所としては連峰はもちろん、吊り橋からの眺めが素晴らしい二瀬川溪谷、日本の棚田百選に選ばれた毛原の棚田などが挙げられます。



西日本の都道府県初！京都府では登山アプリ「YAMAP(ヤマップ)」でトレイルの情報発信をしています！

- ★大江山、綾部のトレイルコース地図が無料で利用できます。
- ★携帯電波が無くても位置情報を確認できます！
- ★「京都縦貫トレイル」公式アカウントから、イベント情報、トレイルの安心安全情報をお届け！



京都縦貫トレイル公式アカウント画面

(参考) YAMAP とは

登山やアウトドアに関心のあるユーザー層を中心に累計122万ダウンロード（平成31年3月現在）を誇る人気アプリ。電波の届きにくい山中でもルートや標高を記録できるGPS機能が搭載されており、トレッキングの記録を残すことが出来る。また、トレッキング中に記録した情報は、撮影した写真やコメントとともに「活動日記」として共有できるソーシャルメディア的な機能を有する。さらに、電波の届かない山の中でもスマホのGPSで自分の位置を確認することができ、登山の記録も残すことができることから、遭難防止など安心・安全に繋がる効果も注目を集めている。



ヤマップ地図画面（大江山連峰トレイル）



App Store
(iPhone用)



Google Play
(Android用)

安全にトレッキングを楽しむために

— 京都府でも、年間 49 名の方が遭難しています（平成 30 年） —

☆遭難を防ぐ3つの方法

①体力の低下を考えた計画・トレッキングを

- ・「60歳の体力は、20歳の時の約6割」を踏まえた計画を
- ・無理にゴールを目指さない

②山道から外れない

- ・遭難者の7割以上が、山道から外れたことによる遭難です。
- ・地図アプリを活用しましょう。
地図・コンパス・スマートフォン等を携帯しましょう。

③登山計画書をつくろう

- ・山道の下調べはOKですか？持ち物は万全ですか？
登山計画書をつくと必要な準備がわかり、遭難防止につながります。

京都府警インターネット登山計画書提出システム

<http://www.pref.kyoto.jp/fukei/anzen/tiiki/sangaku/>